

平成27年度とちぎっ子学習状況調査の結果(速報)及び今後の取組について

栃木県教育委員会事務局学校教育課

1 調査の概要

(1) 調査の目的

本調査の実施により本県児童生徒の学力や学習の状況等を把握・分析し、児童生徒一人一人の課題を明確にするとともに、各学校が組織的に学習指導における検証改善サイクルの構築・運用に取り組むことにより、本県児童生徒の学力向上に資する。

(2) 調査の対象

県内の公立学校に在籍する以下の学年の全児童生徒を対象とする。

ア 小学校調査

小学校第4・5学年、特別支援学校小学部第4・5学年

イ 中学校調査

中学校第2学年、県立中学校第2学年、特別支援学校中学部第2学年

(3) 調査の内容

ア 児童生徒に対する調査

(ア) 教科に関する調査

- ・ 小学校調査は、国語・算数・理科の3教科とし、中学校調査は、国語・社会・数学・理科・英語の5教科とする。
- ・ 出題範囲は、調査する学年の前学年までの学習内容とする。
- ・ 出題内容は、学習指導要領に基づき、教科の目標及び内容に即した基礎的・基本的な知識・技能及び思考力・判断力・表現力等に関わる内容とする。

(イ) 質問紙調査

- ・ 調査する学年の児童生徒を対象に、学習意欲、学習方法、学習環境、家庭学習等に関する質問紙調査（以下「児童生徒質問紙調査」という）を実施する。

イ 学校に対する調査

- ・ 学校における指導に関する取組や学習環境等に関する質問紙調査（以下「学校質問紙調査」という）を実施する。

(4) 調査実施日 平成27年4月21日（火曜日）

(5) 調査を実施した学校・児童生徒数

	実施校数	内 訳	児童生徒数
小学校第4学年	380校	公立小学校 376校	16,577人
小学校第5学年		特別支援学校小学部 4校	16,863人
中学校第2学年	166校	公立中学校 160校 特別支援学校中学部 6校	17,297人
全 体	546校		50,737人

※調査対象児童生徒の在籍がなかった小学校・特別支援学校小学部 4校
中学校・特別支援学校中学部 4校

2 調査結果の概要

(1) 教科に関する調査の結果から

ア 平均正答率

※ () はH26調査結果

学 年	教 科	教科全体 (%)	基礎・基本 (%)	思考・判断・表現 (%)
小学校 第4学年	国 語	65.6 (65.0)	70.7 (65.7)	49.6 (63.1)
	算 数	74.1 (70.4)	79.9 (77.1)	58.3 (52.0)
	理 科	69.7 (69.9)	74.6 (72.2)	55.8 (63.7)
小学校 第5学年	国 語	65.7 (59.8)	72.7 (60.1)	43.5 (59.1)
	算 数	69.7 (72.7)	73.1 (75.2)	61.7 (65.9)
	理 科	57.1 (70.2)	60.6 (70.3)	47.9 (69.8)
中学校 第2学年	国 語	62.7 (68.2)	64.7 (67.4)	56.6 (70.6)
	社 会	60.7 (56.7)	63.4 (59.8)	54.8 (48.9)
	数 学	67.3 (64.2)	73.0 (68.4)	54.1 (52.5)
	理 科	55.8 (60.3)	60.2 (65.4)	46.7 (50.1)
	英 語	59.0 (64.7)	63.2 (71.3)	52.6 (54.7)

イ 各教科の特徴

①…相当数の児童生徒ができている点 ②…課題のある点
網掛け…昨年度の結果と比較しての考察

国 語	小学校 第4学年	① 聞き取り問題の話合いの場面で、話の中心に気を付けて聞くこと ② お礼の手紙を、適切な順序と言葉遣いに書き直すこと 反対の意味の言葉の理解や、簡単な単語のローマ字による書き方については、昨年と比較して改善が見られる。
	小学校 第5学年	① 読点の打ち方や指示語の使い方を理解すること ② 調べたことの要点をまとめて発表原稿を書くこと 慣用句の使い方については、改善が見られる一方、叙述を基に場面の様子を読むことについては、引き続き課題が見られる。
	中学校 第2学年	① 行書の特徴について理解すること ② 登場人物の心情描写に注意して読み、心情を正確に捉えること 必要な情報を捉え条件に従って書くことについては、引き続き課題が見られる。
社 会	中学校 第2学年	① 雨温図の読み取りや邪馬台国について理解すること ② 中世の歴史的事象を年代の古い順に並べ替えること 承久の乱についての理解を基に、鎌倉幕府のしくみの変化を考察し、説明することについては改善が見られるが、複数の資料を読み取って考察し、説明することについては引き続き課題が見られる。
算 数 ・ 数 学	小学校 第4学年	① 分と秒の関係や正三角形について理解すること ② 3人の映画の代金の合計から、見た映画はどちらかを判断し、その理由を説明すること 三角形の特徴を捉えて作図することについては改善が見られるが、与えられた時刻から時間を求めて比較することについては、引き続き課題が見られる。
	小学校 第5学年	① 表から、伴って変わる2つの数量の関係を見だし、一方の数を基に他方の数を求めること ② 2つの折れ線グラフを見比べて、目盛りの取り方の違いに気付き、考え方が正しくない理由を説明すること $1\text{m}^2 = 10000\text{cm}^2$ であることについては、引き続き課題が見られる。
	中学校	① 度数分布表から度数を求めること ② ヒストグラムから資料の傾向を的確に捉えて判断し、その理由を数学的な表現を用いて説明すること

	第2学年	点の座標を読み取ることについては改善が見られるが、数学的に表現された結果から、事柄が成り立つ理由を筋道立てて説明することについては、引き続き課題が見られる。
理 科	小学校 第4学年	① 実験の結果から、車を目的とする距離まで移動させるのに必要なゴムの伸びを推測すること ② 10円玉(銅)の性質を利用して身近なものの仲間分けをし、その理由を説明すること 虫眼鏡や方位磁針の適切な操作については、引き続き課題が見られる。
	小学校 第5学年	① 星の集まりが、時間によって並び方は変わらないが位置が変わることを理解すること ② 水が水面から蒸発していることや、空気中の水蒸気は冷やすと再び水になって現れることを説明すること 1日の気温の変化を折れ線グラフで表すことについては、昨年度に引き続き、おおむね良好である。一方、グラフを読み取り、その日の天気を推測することについては課題が見られる。
	中学校 第2学年	① れき岩、砂岩、泥岩の粒が丸みを帯びている理由を理解すること ② 音の波形を比較し、音の大きさと高さを説明すること 顕微鏡の操作手順については、引き続き課題が見られる。
英 語	中学校 第2学年	① 対話文を聞いて、その英語の内容を正確に聞き取ること ② まとまりのある文章を読んで、あらすじや大切な部分などを適切に読み取ること 文法の理解については、改善が見られる設問がある一方、場面や条件に応じた英作文については、引き続き課題が見られる。

(2) 児童生徒質問紙調査の結果から

ア 教科の学習について

- ① 「次の教科の授業の内容はよく分かりますか」の質問に対し、「はい」「どちらかといえば、はい」と回答した児童生徒の割合(%) ※ ()はH26調査結果

学 年	国語	社会	算数・数学	理科	英語
小学校第4学年	88.2 (88.0)	85.5 (84.8)	89.3 (89.0)	92.1 (91.8)	
小学校第5学年	90.7 (90.2)	86.4 (85.6)	89.6 (89.3)	91.7 (92.8)	
中学校第2学年	86.5 (86.2)	78.0 (75.8)	81.7 (79.4)	79.8 (80.5)	75.4 (74.2)

- ② 「次の教科などの学習は、将来のために大切だと思いますか」の質問に対し、「はい」「どちらかといえば、はい」と回答した児童生徒の割合(%) ※ ()はH26調査結果

学 年	国語	社会	算数・数学	理科	英語
小学校第4学年	91.8 (91.8)	92.9 (92.8)	94.7 (94.3)	88.4 (88.9)	
小学校第5学年	95.2 (94.8)	94.5 (95.1)	96.4 (96.2)	86.8 (88.2)	
中学校第2学年	95.3 (95.4)	79.5 (78.4)	89.9 (89.8)	68.3 (67.9)	88.9 (88.4)

イ テレビやビデオ・DVDの視聴時間、携帯電話の使用について

①「ふだん（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDなどを見たり、聞いたりしますか（テレビゲームはのぞく）」の質問に対して回答した児童生徒の割合（％）

※（ ）はH26調査結果

学 年	4時間以上	3時間以上 4時間より 少ない	2時間以上 3時間より 少ない	1時間以上 2時間より 少ない	1時間より 少ない	全くしない
小学校第4学年	16.6 (16.5)	13.8 (14.4)	20.6 (21.2)	25.6 (25.8)	18.9 (18.2)	4.4 (3.7)
小学校第5学年	16.7 (18.4)	14.8 (16.4)	23.9 (23.7)	27.0 (25.2)	14.9 (14.0)	2.6 (2.2)
中学校第2学年	13.9 (15.1)	14.5 (15.3)	26.0 (26.3)	28.1 (27.8)	15.1 (13.5)	2.4 (2.1)

②「ふだん（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、けいたい電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしていますか。（けいたい電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間をのぞく）」の質問に対して回答した児童生徒の割合（％）

※ H26調査結果については、質問内容が異なるため示していない。

学 年	4時間以上	3時間以上 4時間より 少ない	2時間以上 3時間より 少ない	1時間以上 2時間より 少ない	30分以上 1時間より 少ない	30分より 少ない	持っていない
小学校第4学年	2.7	1.8	2.7	4.0	6.2	23.7	58.7
小学校第5学年	1.9	1.4	2.6	4.4	6.1	24.6	58.9
中学校第2学年	5.6	4.5	9.3	11.9	11.2	17.0	40.5

<参考> H26調査結果

「携帯電話・スマートフォンを持っていますか」の質問に対し、「はい」と回答した児童生徒の割合（％）

学 年	はい
小学校第4学年	25.8
小学校第5学年	28.7
中学校第2学年	43.3

「はい」と回答した児童生徒だけが回答

「1日にどれくらい携帯電話・スマートフォンで、電話やメールをしたり、インターネットのサイトを見たりしていますか（家の人との電話やメールはのぞく）」の質問に対して回答した児童生徒の割合（％）

学 年	3時間以上	2時間以上 3時間より 少ない	1時間以上 2時間より 少ない	30分以上 1時間より 少ない	30分より少 ない	全くしない
小学校第4学年	4.1	2.8	4.0	8.9	38.9	39.5
小学校第5学年	3.4	2.4	6.0	9.3	36.5	41.6
中学校第2学年	18.6	15.9	20.4	17.1	17.5	10.4

ウ 家庭学習について

- ①「学校の授業時間以外に、ふだん（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾や家庭教師も含む）」の質問に対して回答した児童生徒の割合（％）

※（ ）はH26調査結果

学 年	3時間以上	2時間以上 3時間より 少ない	1時間以上 2時間より 少ない	30分以上1 時間より少 ない	30分より少 ない	全くしない
小学校第4学年	5.4 (5.5)	11.3 (10.9)	28.4 (27.4)	38.3 (38.3)	13.3 (14.6)	3.2 (3.3)
小学校第5学年	4.4 (4.5)	12.0 (11.5)	39.1 (36.1)	32.9 (35.0)	9.4 (10.8)	2.2 (2.1)
中学校第2学年	7.6 (7.1)	27.3 (25.7)	38.3 (38.3)	18.1 (19.1)	6.4 (7.0)	2.4 (2.8)

- ②「次のことは、あなたにどれくらいあてはまりますか」の質問に対し、「はい」「どちらかといえば、はい」と回答した児童生徒の割合（％）

※（ ）はH26調査結果

学 年	家で、学校の授業 の予習をしている	家で、学校の授業 の復習をしている	家で、テストでま ちがえた問題につ いて勉強をしている	家で、学校や塾の 決められた宿題の ほかに自分で考え た勉強をしている
小学校第4学年	53.4 (54.1)	60.3 (59.0)	62.4 (61.5)	60.4 (59.0)
小学校第5学年	53.4 (54.0)	63.4 (62.2)	63.9 (61.5)	62.0 (61.0)
中学校第2学年	47.5 (46.9)	69.0 (67.3)	62.4 (59.0)	55.9 (54.5)

学 年	むずかしい問題に であると、やる気 がでる	学習に対して、自 分から取り組んで いる	学校の宿題は、た めになっている	家で、学校の宿題 をしている
小学校第4学年	60.4 (57.0)	72.4 (70.1)	94.0 (93.7)	95.5 (95.7)
小学校第5学年	59.5 (53.4)	75.9 (71.6)	95.2 (94.5)	97.5 (97.3)
中学校第2学年	40.9 (37.6)	69.4 (65.9)	89.0 (87.4)	93.2 (91.9)

3 調査結果を活用した今後の取組について

(1) 児童生徒

自らの学習到達度や課題を確認するとともに、主体的に学習に取り組む際の参考とする。

〔活用例〕

- ・ 個人票、解答用紙のコピー、正答例により課題を把握
- ・ フォローアップシート（復習用資料）により課題を克服

(2) 学校

児童生徒の学力や学習の状況等を把握・分析し、課題を明確にすることで、個に応じた指導を充実させるとともに、学習指導の検証改善サイクルを確実に構築・運用し、教師一人一人の指導力向上に

努める。

〔活用例〕

- ・ 教科に関する調査結果、児童生徒質問紙調査結果を基に、学校全体で改善計画を立案
- ・ 県教育委員会が作成する指導改善資料を参考に、効果的な指導方法について研究、実践
- ・ 調査結果報告書の分析結果を基に、家庭学習等についての啓発資料を作成し家庭に発信

(3) 市町教育委員会

調査結果を踏まえ、学校における学力向上の取組に対して必要な支援を講じる。

〔活用例〕

- ・ 調査結果を多面的に分析し、市町教育委員会の学力向上策に基づき教師の指導力向上を支援

(4) 県教育委員会

児童生徒の学力や学習の状況等を把握・分析するとともに、市町教育委員会と連携して学校の学習指導における検証改善サイクルの構築を支援する。

- ・ 調査活用説明会（7/17）を、市町教育委員会指導主事等の参加により実施
- ・ 調査結果活用研修会（8/6）を、全公立小・中学校の学力向上担当者等の参加により実施
- ・ 学力向上アドバイザーを学校に派遣し、調査結果を活用した学力向上の取組を支援
- ・ 調査結果の分析に基づく報告書（8月下旬）、指導改善資料（11月下旬）を学校、市町教育委員会に提供